

9/28 2018

元首相の國葬を実施しました。首相の独断で国葬開催を発表してから批判や疑問の声に直面しましたが、うとしませんでした。法的な根拠のない憲法違反の儀式を行なったことは重大です。國葬に抗議する集会やデモ、眞伝行動は全国各地で取り組まれました。眞伝に沿ひた政治がこれ以上続かなければ」とはできません。

はできません。

「安倍政治の賛美」一色

眞伝では舞弊政風を務めた眞田直相らから、安保法制一戦争法をはじめ連露の法律を成立させた安倍氏の実績をたたえる眞傳の眞葉が相次きました。

主張

抗議の中の国葬

の成立に「國民投票法をもつて」題味
たれやめられた」と語り、多
くの国民の反対を押し切り、「戦
争する國」への邁進めた安倍政
府を平和と歴史した政治家と描きま
した。また、安倍氏が「戦後シ
ームからの脱却」を掲げ、防衛庁
を防衛省へ格上げしたこと、改
正金

強行した岸田

田首相の責任重大

統一協会と深く結び、「吉田塾」としての役割を果たしたことは、切間われませんでした。

吉田氏の「吉田誠美の言葉は、NHKをはじめほとんどのテレビ局の中継を通じ、全国に流れました。国葬の開催そのものが、安倍政権の8年8か月を美化する」など評議しました。

吉田から批判が相次いでいる憲法がないがしろにした政治、格差と貧困を広げた「アベノミクス」失政、「森友・加計・桜を見る会」なら国政私物化疑惑は全てかき渦されました。安倍氏が

中央省庁では半旗が掲げられ、黙悼も呼びかけられました。内心の自由を侵害する大きな問題です。吉田の中で評価が大きく分かれている安倍氏の政治的立場や政治姿勢を、国家として全般的に公認し、「安政政治」を

国民の不信や疑惑は払しょくされていません。国葬開催が近づいてしません。反対の世論は増加しました。「趣経」・E-NZの調査では、7月は国葬決定「よかった」50・%、「よくなかった」46・9%でした。8月には「賛成」40・8

転じ、の内調査では「反対」62・3%、「賛成」31・5%となりはがりあつた。國葬についての鹿田首相の説明は「結構できません」とは72・6%との結果である。